

霊界の存在を人類に明示

発行所
京都市左京区
吉田神楽岡町3
世界救世教明教会
郵便番号606-8311
電話075(771)2022番

抑々、現代文明を検討して見る時、その構成は唯物理学が基本であることは言うまでもないが、今それに就て詳しくかいてみよう。

それに就て先ず知っておかなければならない事は、大宇宙の構成である。といつても人間に直接関係のない事は省き重要な点だけをかいてみるが、本来宇宙なるものは、太陽、月球、地球の三つの要素から成立している。そうしてこの三つの要素とは火、水、土の精で、その現われが霊界、空界、現象界の此三つの世界であつて之がよく融合調和されているのが実相である。処が今日迄は此三要素中の二要素である空界と現象界(物質界)だけが判つていたばかりで、此二要素の外に今一つの霊界なるものの在る事が分つていなかったのである。といふのは唯物理学では、全然把握する事が出来なかつたからである。従而、右の二つだけの進歩によつて出来たのが、現在の如き唯物文化であるから、つまり三分の二だけの文化という訳である。

処が何ぞ知らん、この無とされて来た三分の一の霊界こそ、実は二と三を二つ合せたよりも重要な、基本的力の中心であるから、之を無視しては完全な文明は生れる筈はないのである。何よりも二つの文化が之程発達したに拘わらず、人類唯一の欲求である幸福が、それに伴わないのがよくそれを示している。従つて今此矛盾の根本を充

各面の内容

- | | |
|------|---------------|
| 1・2面 | 初代会長先生 御教えの研鑽 |
| 3面 | 女性の会勉強会 |
| 3・4面 | 講義ノート 寺岡直美様 |
| 5・6面 | お蔭ご奉告 小林実穂様 |
| 7・8面 | お蔭ご奉告 伊吹之博様 |
| 8面 | 講義ノート 高橋如音様 |

明主様の御教え

一の世界

分検討してみると、之には深い理由のある事を発見するのである。といふのは若し人類が、初めから一の霊界のある事を知つたとして、物質文明は今日の如く、素晴らしい発達を遂げ得なかつたに違いない。何となれば霊界を無視したればこそ、無神思想が生れ、其思想から悪が発生し、其結果善と悪との闘争となり、人類は苦惱に苛まれつつ、遂に唯物文化の発達を余儀なくさせられたからである。之を深く考えれば、全く深甚なる神の経緯でなくて何であらう。処が物質文化が或程度発達するや、それ以上は反つて文化の破綻を来す懼れが生じて来た。何よりも彼の原子爆弾の発見で、勿

論之もその一つの表われではあるが、茲に到つては最早文化の進歩に對し、一大転換が行われなければならない天の時となつたのである。其第一歩として、無とされていた一の霊界の存在を普く人類に明示される事となつた。といつても無の存在である以上、其方法たるや、科学では無論不可能である。そこで未だ曾て人類の経験にない程の偉大なる力の發揮である。即ち神の力である。処が長い間唯物主義に固まつていた現代人であるから、納得させるには非常な困難が伴うのであるが、之に對し本教が行う唯一の方法としての奇蹟がある。即ち本教の浄霊法こそそれである。之によつて如何なる無神論者と雖も、一挙に承服せずには措かないからである。従つて此事が普く人類社会に知れ亘るに於ては、世界共通の真文明が生れんとして、現代文化は百八十度の転換を、余儀なくされるであらう。

処が茲に残された厄介な問題がある。それは何千萬年も掛つて、今日の如き文化を作り上げたのであるから、之迄には如何に多くの罪惡が行われたか分らない。罪惡とは勿論霊体の汚穢で、それが溜り溜つてゐる以上、此儘では新世界建設に障礙となる。恰度家を建てる場合、木屑、鉋屑、其他種々の塵芥が散らばつてゐるようなものであるから、茲に其清浄作用が行われなければならないが、之も又止むを得ないのである。キリストの最後の審判とは之を曰われたのであらう。

以上によつても判る如く、本教が素晴らしい奇蹟を数限りなく現わしている此事実こそ、一の世界の存在を認識させる為の、神の御計画でなくて何であらう。そうして神は私に此大任を任せ給うたのである。

(栄一 一ノ号)

見えない霊界の事を正しく掴む

今の科学は 物質界を 対象に発達

世界の事を正しく掴ませていただく、その存在をしっかりと掴ませていただくといふことが、何よりも一番大切なわけでありませう。その事を本当に掴ませていただくためには、霊界の事を解決しなければいけないとか、私共が浄まらなければいけないとかいうこと自体も、これはただ表面的なことだけになつてしまふわけでございませう。

ですから私共自身がそういう霊界の事をしっかりと掴ませていただく、しかも正しく掴ませていただくための、第一歩として、神様は私共に色々な神様の御力を通して、色々な御恵みを与え

初代会長

多田 光行

明主様から私共は、現界、いわゆる物質界と申しますか、私共の五官によつて掴ませていただくことのできる世界のほかに、その奥にもう一つ霊界という私共の五官では触れることのできない、つまり目で見たり、あるいは耳で聴いたり、あるいは手で触れたり、そういう五官によつて触れることのできない霊界という世界があるということをお教へいただいているわけでございませう。

私共が神様を信じ、神様の御心に叶うようにならせていただくために、その第一歩として、見えない霊界、霊の

明主様御真筆 日月光之書
(御箱書き)

1面からの脱却

私共の今の科学は、この現界、それからここで仰つております空気界、それらの世界を対象として発達してきているわけでございます。ですから、先程も申し上げておりましたように、霊界ということとは、あまり分からなかつたわけであります。一方で最近も、色々新聞だとか、テレビなどで時々霊界というところを取り上げておられることがございます。その中には本当の事もありますが、得てして大変興味本位の取り上げ方をされておりますから、かなり歪められた形になっている場合が多いわけでございます。

(一九八二年七月十八日より)

講義ノート



美原布教所
寺岡 直美

本日、女性の会勉強会の体験講義のお申し込みを頂きました。この機会に感謝申し上げます。前回は上田先生がお話し頂きましたが、今回は上田先生が少しお浄化を頂いておられますので、上田先生より事前にお伺いさせて頂いたまま、上田先生が、お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。

美原先生のお話を頂きたいと思っております。お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。

主婦の会勉強会 発足当時を振り返る

今年の4月に行われました女性の会勉強会から今回の女性の会勉強会にかけての間に出来事がございました。1月

末にこの浄化を頂かれたと伺い、2月の立春祭にお目にかかれなくなりましたが、少しずつ回復に向かわれておられると伺い、いつかお目にかかれる日が来ることを祈っております。8月12日に「浄化」を頂かれたと伺い、2月の立春祭にお目にかかれなくなりましたが、少しずつ回復に向かわれておられると伺い、いつかお目にかかれる日が来ることを祈っております。

前回の勉強会で女性の会発足当時の事をお話させて頂いた以下4面に続く

第138回 女性の会勉強会



先生方のご講義を聞きメモをとられる参加者

第138回女性の会勉強会。中の病気を根本から無くすことは、2023年10月21日、22とができます。私の努力次第で世の中の方々が浄められます。私共の使命についてお話し頂きました。今回より多田先生が講師を務めます。午前10時、多田先生より体験講義を頂きました。4面に掲載。寺岡先生の体験講義を通して、これまで多田先生が主催の会、女性の会と私共女性信徒のためにこのご講演を賜り、高い志を以て導いて下さいます。心より御礼申し上げます。休養をなさみ、小林実穂様がご自身のご浄化について、昨年引き続きご報告されました(5、6面に掲載、2021年お蔵ご報告から順次掲載予定)。書き足していただくために、お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。お浄化を頂いておられます。

頂いた奇蹟ご奉告 熱い信仰姿勢に 感動される参加者

多田先生、貴重なご講演を、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。



小さなお子様のお預かり

講義などについて
お話しされる会長先生



会長先生ご講義

世の中の方々を 救う努力を 霊界の明るさに 相応しい魂に

ヒト、お菓子を美味しく頂きました。特に今回は無肥料無農薬のみかんをお取り置き下さり「今年はみかんが全国的に不作だった中、このみかんは大豊作でした。また慣行栽培では害虫になる虫が無肥料無農薬のみかんには益虫となつて良い働きをします」というお話を聞かせていただきました。貴重なみかんを感謝し、心より努力させて頂きました。午後からは橋爪晶子様(次司理様)と下平みどり様(同)のお二人が体験発表をされました。中村貴子様の体験発表は「真善美」(実践)と多田先生第14巻を拝読していただき、先ず私共が自分の心を天国にさせていたこと、心も体も美しくならせたいことが地上天国の条件であることをお話頂きました。



昼食をいただく前に合掌される参加者

2021年に末期癌のご浄化

命を
ある
今
く
らし
自分
たい
生き
生

お蔭ご奉告
1

小林 実穂

以前からあった胸のしこり
この4年の間に大きくなる
日増しに症状が進行したと感

クリニックで診察

右の肺が真白

こどももびっくりだ。

父の家に移り、いつでも御
浄霊を頂ける環境にしてい
たきました。背中やわき腹、
腰の辺りに肉の塊のような異
物、右の肺が真白でした。
お医者様は「これは大変です

物があるように思い、日増しに症状が進んでいると感じました。このまま動けなくなってしまう、一日も早くお医者さんに見てもらわなければと思いました。父にも相談し、会長先生へご報告してもらいました。

乳腺クリニックで乳癌検査の予約をしました。が、咳と呼吸困難の症状があり、コロナウイルスの感染を疑われたた

よ。多分、肺癌が結核かな。右の肺にアリツトルの水が溜まっでいて、これを抜かないと診断書は書けない」と言われました。私は「水は抜きたいです。今の状態と、仕事の継続は難しいことだ。診断書に書いていただけませんか？」とお願いしましたが、この水を抜いて調べないと癌がうつか分からない。大きな病院を紹介するので明日

「お医者様ともよく関わっていますので、肺の水を抜かすに
影断書を出してもうう方法が
ないかと相談しましたが、難し
いとのことでした。このよう
な状況になったのは全て私の
責任です。診断書が出ないま
ま私が亡くなれば、教会の御
葬儀に影響があるかもしれない
、覚悟を決めようと思いま
した。」

4月23日、下の弟に付き

「私も抜いてもらってまで、下へいって。寝られていないでしょ。」「ごい」と言われました。その日は木曜日でしたが、確かに、確かに月曜日から横になって眠れていられませんでした。お医者様に紹介状を書いてもらって帰りました。

達した時、胸が苦しくなり
ましたので、そこでストップ
してもらいました。最後に乳
腺科で第二に一緒に医者様の
話を聞きました。「乳癌から
の転移で肺と肝臓、骨にも癌
があります。次の検査で胸の
しこりに針を刺して細胞を取
り出し、癌の種類を診ます。
そして治療法を考えます」と
仰いました。私は「産まれて
から一度も病気にかかったこ
ろがないので、親類はホッ

いでしょー」と仰いました。
私は冷静でしたが、弟の方が
心配でした。「大丈夫ならな
らっかー」と声を掛けまし
た。最後にお医者様よりす
が、ご家族の意見も聞きな
いので4月27日に逝きんで
もう一度来て下さい」と言
われました。

私は家族の皆に迷惑はかけ
ないかなと、翌朝はホッ

ご報告をされた方が、家族に甘えることも大切なことに気付かされたとお話されました。そのご報告を聞き、胸が熱くなりました。私も最初は家族に甘えてみようかなと思いましたが、

添ってもらい大病院へ行きました。呼吸内科、続いて乳腺科のお医者様とお話し、症状を伝えました。乳腺科では乳癌エコーの検査をし、次に肺の水を抜きました。お薬を一日体に入れて行う検査も行うと言われましたが、それはしなけなと断ると了承して下しました。胸水はリットル抜くことが目標でしたが、800ミリリットルに到上先の将来を見る上は難し

伝えました。「ご本人の意思を尊重するのが一番です。で、分かってました。実は治療をしで逆に命を縮めるリスクもあることをお話ししようと思っていました。治療が緩和ケア、2つの提案をするつもりでした」とのことでした。

「先生、私の余命はどのくらいですか、お尋ねすることとても深刻な顔で「6か月以内の将来を見る上は難し

れは一人で決めないで家族みんなの意見を聞いてほしい。ホスピスとナコロナ病院で面会してくるなら、癌の痛みが和らぐかもしれない。それは本当に自分が望む最期なのか、在宅療養で面会を見させてほしい」と言ってくれました。

入院した翌日、女性の会勉強会に参加させていただきました。出席についてお嬢

れば一人で決めないで家族みんなの意見を聞いてほしい。ホリスティックとコロナ禍で面会もできなくなる、癌の痛みがでてくれば痛み止めを使われるかもしれない。それは本当に自分が望む最期なのか。在宅療養で面会を見させてほしいと言っていました。

病院に行った翌日、女性の会勉強会に参加させていたんだときました。出席についてお禮

明主、日々数限りない御守禮を賜り誠にありがたうございます。車中では悶悶としたこの度自身に頂きましたが浄化について報告申し上げます。

2012年1月末、通っていたヨガクラスで胸を圧迫するようなストレッチをして、肋骨にひびが入ったようで、少し腫れましたが、あまり気に留めず毎日御守禮を頂いていました。しかし、目が怪つにつれその痛みが激しくや胸の下へと移動していくと同時に息苦しさも感じようになりました。2月末には背中、腎臓の辺りが痛み、尿意を催さなくなりました。3月になると、息苦しさが増し、頻繁に咳き込むようになりました。ふと、右胸に触れてみると2011年の3月かあった胸のしこりが右のよりに固く動かなくなっていました。しこりを発見したのは4年前でしたが、その塊はとても小さく料ゴムのよにコロコロと動いていました。イメージネット上で調べると乳腺の症状とよく似ていましたので、心配しなくても大丈夫だろうと思いました。しこりがあることは人に言えず、会社でお世話な僕から御守禮を頂くまでお伝え出来ませんでした。自己治療と主人から聞いたところ、4年の間にしこりは少しずつ大きくなっていましたが、月経前後に太きさが変わり、痛みもありましたのでやはりこれは乳腺症だといつも自分に言い聞かせていました。

今回、しこりが動かなくなっていることに気付き、イメージネット上で症状を入れた検索すると乳腺、転移しやすい箇所、骨や肺に出てきまじ。自分の症状から見て、これだと思いました。同時に自分の命はあまり長くないと直観しました。

乳粉が既に転移しているかも知れないことに気付きましたので、これで雷平に行かせていたけるのなら良いのかもしれないと悲しい気持ちになりました。りませんでした。

最初に父に自分の体調について打ち明けました。きつて心配していたと思いますが父は冷静でした。詰めて御検査を頂く必要があるため実家に越して来れば良いと言ってくれました。主人は随分していましたが、呼吸がおかしいことに気付かれました。症状について説明し、もう長くは生きられないかもしれないと伝えました。主人はぼろ泣いてそんな大事なことを一人で決めたしまったのだと天面で泣き崩れました。僕がさっさと君の間世を覚るから生きたいとは言われました。主人は4月より新しい就職先が決まっていたので単身で兵庫県に引っ越すことになり、週末は奥家の掃除や洗濯などをして家

続いて京大病院へ エコー検査や 肺の水を抜く

最終的な診断は

右 多 多 多 胸 腹

乳癌
発肺転移
発肝転移
発骨転移
膜播種
膜播種
膜播種

治療は何もしない
在宅療養をと伝える

医師は立派な判断と仰る
私の意思を尊重して下さり
医療現場も変わったと実感

転後、胸膈痞塊、腹脹痞塊と診断されました。播種とは種が撒かれるように体の中にバラバラと種が広がることです。治療を行わず、在宅療養を希望する旨をお伝えしました。お医者様は立派な決断者だと思いましたと仰いました。またいつ病態が急変してもおかしくなく状態で、これから相当な痛みが出てきます。サメめて麻酔だけは持つて帰るというに何度も言われたにもかかわらず、それも丁重にお断りしました。

最初は此処まで病気を放置しておいたことを責められるのではないかと、治療を勧められるのではないかと不安でしたが、どのお医者様も親身になって話を聞いて下さり、患者の意思を最優先とされ、医療現場も変わって来たのだと実感いたしました。お医者様に私は私の意思を尊重して下さい、本当に有難かったですとお礼を申し上げました。

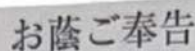
Year	Age	Sex	Height (cm)	Weight (kg)	Body Mass Index (kg/m ²)	Waist Circumference (cm)	Hip Circumference (cm)	Waist-Hip Ratio	Trunk Fat (%)	Visceral Fat (cm)	Subcutaneous Fat (cm)	Visceral Fat Index (cm ³)	Subcutaneous Fat Index (cm ³)	Visceral Fat to Subcutaneous Fat Ratio
2000	25	M	175	75	24.5	95	105	0.90	15	5	10	150	100	1.5
2005	30	M	178	85	27.5	100	110	0.91	18	8	12	200	120	1.7
2010	35	M	180	95	29.6	105	115	0.91	20	10	15	250	150	1.7
2015	40	M	182	105	32.7	110	120	0.92	22	12	18	300	180	1.7
2020	45	M	185	115	34.1	115	125	0.92	25	15	20	350	200	1.8

Information

(2021年10月3日)

<下>

健康診断



伊吹 之博

私はちょうどこの少し前、左手が急に腫れ出すという一瞬を覚えていました。入浴前胸たぐさん注射をしており、その一瞬化を頂けたのだと感謝してありました。そのこの症状で、ワクチンを接種すると血管科腫瘍やアナフィラキシーなどの重篤のアレルギ反応を起すリスクが大きいと考えられる」という診断書を出していたことが、改めて移民局指定の診療所に健康

承認待ちの中 脳溢血の症状

首が全く動かず
左手足も麻痺し
半身不随の状態

驚異的に良くして頂く

10日目に足指が
動くようになる
だんだん歩いて

そんな頃
永住権が
承認される

「下8面に続く」

丁度、左手が
急に腫れ出す
ご浄化を頂く

診断書を持ち診療所へ
ワクチン接種を
回避できる

その診療所の
番地は6369

ても空を切ってしまいます。右足は感覚がなく、足指は全く動かすこともできませんでした。命に関わる浄化なので、日本に連絡すると、多田恵恵会長先生は誰か御浄霊お取次ぎに行ってもらおうかと仰って下さったのです。しかし、現在渡米には3回のワクチン接種が必要で、家族も私が命が危ない状態だと感じ取ったのです。足指は10日に動くようになりました。トイイレに車椅子で行けるようになり、だんだん歩けるようになり、そしてまた日本に帰って来たのです。日本の子供達に御教を拝読した録音を送ってもらい、聴かせていたなまじです。そのうちの1つが次の御教です。何度も聴かせていたなまじに想念を正していかなければならないと思いました。

『神様か斯ういふお見出しに与るといふ事は、一生涯の光栄で、それに対しては唯感謝より他何もない。感謝して有難いと思へば後又使はれる。少しでも自分がうたと思ったら神様はもうお使ひにならぬ。』(実談録)

ツーンシジョウレイセンターの方々のご親切にはなんとお礼を申し上げて良いか分かりません。私としては感謝しかないですが、私がみるみる驚異的に良くなっていくのを見て、アメリカでこのような大きな浄化で医療にかからず御浄霊だけで良くなった例がない。御浄霊のお力がこれほど素晴らしいとは初めて体験した。ご自分の出身のジョウレイセンターに体験を送られた方もおられました。また信仰が大事だと学んだとも仰いました。6月ジョウレイセンターまで車で送っても

らいお参りができるように
り、信徒の方は歌声を上げて
喜んで下しました。アバー
ンのお隣の看護士ロバート
さんは最初救急車を呼ぼうかと
仰っていました。私が驚愕
的に反論していたくのを自
て大変驚いておられました。
7月の初めには運転して自
分でジョウレイセンターへ
参拜に行けるようになります
。そんな頃顧問移民弁護士
事務所から突然連絡が入りま
した。永住権（グリーンカー
ド）申請が承認され、取得で
きたとのこと。またかなり先
の事と思っておりましたので
大変驚くと共に有難く、神様
に心から感謝申し上げまし
た。大変な状況下での申請で
したが、申請してから1年9
か月で取得できていたさま
です。ドクター・サイにご報告
すると、大変喜んで下さり
アリゾナ大学スリープセン
ターのスタッフと共にレスト
ランでお祝いして下さいまし
した。ツッソジョウレイセ
ンターの方はサフライズバ
ーティーをして下さいました。
卓越した研究者という申請
枠で提出した推薦状には最初
から最後まで浄霊実験に関す
るさこそ記載されていませ
ん。それが承認されたという
ことに重大な意味があり、こ
れは私個人の問題ではなく、
浄霊実験の重要性が米国移民
局に認められた大きな一歩で

顧問移民弁護士から承認通知と祝福のメールを受け取った際、「正直なところ、私に本当に卓越した研究者様で、住権取得できると思っていたか」と尋ねました。「勘違いがないので不安もありました。しかし、少なくとも申辯者であつたような人は他にいないこと、そしてあなたがこの国でしていることは人々の役に立っていることを理解しています。それで私達はあなたを信じました。そして移民局もあなたを信じたのです。これで帰国もできますね。おめでとうございます」

7月20日今回無事帰国することができました。脳溢血のことから

脳溢血のご浄化を
いただき約3か月
無事に帰国できる

ような大きな浄化を頂いてから約3か月しか経っていません。アメリカでの浄化実験を継続するために取得したグリーンカードでしたが、この新型コロナウイルスの水際対策でアメリカ人は日本に入国できませんし、日本人はワクチン接種なしにアメリカに入国できない現状にあつてグリーンカードとは本国籍のままアメリカ人と同様の扱いとなるため日米間を行き来できる唯一の身分でもあります。一番良い方向に導いていただき衷心よりありがとうございます。感謝申し上げます。

以下、右下の順に個人情報を掲載しています。

事故を通して見せていたいろいろな奇蹟を含め、生まれる前から今日まで御守護頂いてゐることに感謝させていたいただき、一分でも一秒でもこの偉い神様のお役に立たせていたがための努力をお誓ひ申し上げます。

明主様、本当にありがとうございます。

(2022年9月1日)